



2024年4月25日

各 位

会社名 関 東 電 化 工 業 株 式 会 社
代表者 代表取締役社長 長谷川 淳一
(コード番号 4047 東証プライム市場)
問合せ先 広報・IR室長 代蔵 政伸
(TEL. 03 - 4236 - 8804)

減損損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第4四半期連結会計期間において、固定資産の減損損失を計上する見通しとなりましたのでお知らせいたします。これに伴い、2023年10月25日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の内容

当社の電池材料は、主にリチウムイオン二次電池用の高純度電解質を製造販売しておりますが、原材料となるリチウム価格の大幅な高騰を受けた在庫残により売上原価が高止まりしたこと、さらに販売価格の低下を反映した棚卸資産評価損を計上したことにより、減損の兆候である「経営環境の著しい悪化」が認められました。回収可能性を検討した結果、電気自動車市場の成長を見込み8,000t/年の設備増強を進めておりましたが、将来の販売数量の減少による収益性の低下が見込まれることから、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、減損損失として約42億円の特別損失を計上する見込みとなりました。

2. 業績予想の修正について

2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 63,800	百万円 △2,000	百万円 △1,600	百万円 △1,600	円 銭 △27.85
今回修正予想(B)	64,770	△1,970	△1,170	△4,480	△77.98
増減額(B-A)	970	30	430	△2,880	
増減率(%)	1.5	—	—	—	
(ご参考) 2023年3月期 通期実績	78,675	12,947	13,679	9,382	163.32

3. 修正の理由

売上高は、半導体用特殊ガス類の販売数量増に伴い、前回公表数値を上回る見込みです。

営業利益は、売上高の増加が見込まれますが、電池材料の販売単価減による棚卸資産評価損の増加が見込まれるため、前回公表数値並みとなる見込みです。

経常利益は、為替差益の増加に伴い、前回公表数値を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の一部と棚卸資産評価損の増加に伴う法人税等調整額の計上が見込まれますが、上記1の通り減損損失を特別損失に計上する見込みのため、前回公表数値を下回る見込みです。

4. 電池材料の今後の方向性について

電池材料の今後の見通しですが、米国のインフレ抑制法に係る重要鉱物要件による引合いを受けており、2025年3月期第2四半期より売上に寄与する見込みです。また、ライセンスビジネスを拡大させるとともに、原材料市況に左右されない事業構造の構築のため、安価な原材料の使いこなし、棚卸資産回転率の向上などに取り組んでまいります。さらに、リチウム回収の事業化などを進めていきます。

なお、電池材料の2025年3月期の業績につきましては、黒字化する見込みです。

5. その他

2024年3月期の業績動向を鑑み、代表取締役社長以下業務を執行する取締役について、月額報酬を20%～10%削減いたします。(2024年4月～2024年6月迄)

なお、今回、業績予想を修正いたしますが、2024年3月期期末配当予想(7円)の修正はございません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上